

# 県立図書館通信

12月号  
H30.12.6 発行



12月になりました。冬休みまであと少しですね。休みの間に、これまで読んだことのないジャンルの本に挑戦しませんか？

佐賀県立図書館の本の中から、高校生におすすめの本を紹介します。

## 新しく入った本



### 「みんなちがって、それでいい」

宮崎 恵理/著  
重本 沙絵/監修  
ポプラ社 / 発行  
資料コード 120922299

2016年9月ブラジル・リオで開催されたパラリンピック。そこに陸上競技を始めて1年数ヶ月ながら銅メダルを獲得した女性・辻沙絵さんがいました。幼少時から活発で学生時代はハンドボール部で活躍しました。本書は競技・出会い・困難などこれまでの沙絵選手の歩みが描かれています。



### 「へんないきものもよう」

早川 いくを/著  
KKベストセラーズ/発行  
資料コード 115942294

オレンジ色の丸い目？表紙のインパクトがすごい！目はなく、模様なのでしょう。このいきものは Argema mittrei という名称の熱帯雨林に生息する大形のガの一種だそうです。ぐるぐるうずまき模様のウミウシの卵、縞模様などいろんな模様のいきものをカラー写真で紹介しています。ぜひ一読を！！



### 「イラストでわかりやすい昔の道具百科」

岩井 宏寛/文  
中林 啓治/イラスト  
河出書房新社 / 発行  
資料コード 115942740

日常生活のほとんどがガスや電気を使用する現在。それらがなかった時代の生活とは？食卓、台所の道具、住まいの移り変わり、通信や移動・運搬の移り変わりなど疑問に思っていることを解決してくれます。マッチ、公衆電話、砥石、ランプなどのイラストが表紙に掲載されています。みなさん、全部分かりますか？



### 「ペットシッター ちいさなあしあと」

高森 美由紀/著  
産業編集センター/発行  
資料コード 115938623

において生き物の死期がわかる斎藤陽太は、ペットシッター「ちいさなあしあと」の代表をしています。動物の言葉が分かる小島薫と、相川英輔とともに働く毎日。そんななか、海外で仕事をしている陽太の父親が帰国して……。命というかけがえのないものをテーマにした切なく心温まる物語です。

読んでみよう

## 12月におすすめ



12月といえば、いろんな行事がありますね。今回は、クリスマスや年末年始におすすめの本をご紹介します☆



### 「クリスマスを探偵と」

伊坂 幸太郎/文 マヌエーレ・フィオール/絵 河出書房新社/発行  
資料コード 115793580

探偵カールは、クリスマスの夜、謎の男と出会ってなぜか自分の子どもの頃の話をする事になり……。多くの受賞歴を持つ著者の伊坂さんが大学のときに書いた初の小説だそうです。



### 「ヤングサンタクロース」

ルーシー・ダニエル＝レイビー/著 小学館/発行  
資料コード 120498183

エルフ王国の誕生の日。母エラに抱かれたニコライ、みんなが喜びに包まれるなか、魔女マグダが王国を襲撃しました。なんとか逃げたニコライは、人間に育てられることになりましたが……。サンタクロースの若い頃の冒険の物語です。



### 「中高生のための「かたづけ」の本」

杉田 明子・佐藤 剛史/著 岩波書店/発行 資料コード 120805304

かたづけ方が分からない、面倒、そう思うことはありませんか？本書では、出す→分ける→選ぶ→収めるの順に、収納デザイナーである著者がかたづけの方法を解説してくれます。かたづけ力をつけて新年をすっきり過ごしませんか？



### 「おうちで楽しむにほんの行事」

広田 千悦子/著 技術評論社/発行 資料コード 114323108

古来からの伝統行事が現在でも多く残っています。それをおうちで楽しめたらどんなにいいでしょう。12月といえば、冬至のゆず湯、お正月の準備などがありますね。ぜひ、参考にさせていただきます。

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>

問い合わせはこちらまで